

2015年度

(平成27年度)

学 校 情 報 の 公 表

2016年9月2日

学 校 法 人 川 原 学 園

東 京 動 物 専 門 学 校

## 目 次

1. はじめに	3
2. 学校概要	3
3. 教育活動	4
4. 学業成果	5
5. 学生支援	6
6. 教育環境	6
7. 学生募集	7
8. 財務	8
9. 地域貢献・地域連携	8
10. 表	
表1 平成27年度 卒業生就職状況	
表2 平成27年度中に学校主導で取得した資格	
表3 過去7年間の自主退学者数と退学時期	
表4 学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数	
表5 八千代本校舎 学生利用施設	
表6 富里実習施設主要動物舎	
表7 富里実習施設教材動物	
表8 実習用設備、及び備品	
表9 財務消費比較表（5カ年）	

## 1. はじめに

東京動物専門学校は、1987年東京都三田に東京動植物専門学院としてスタートし、1990年千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校しました。開校にあわせて千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設も完成し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から20数年経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで動物園や水族館をはじめ、多くの動物関連施設にて動物と一緒に働いております。

また2013年(平成25年)には更なる職業教育の充実を図る観点から、企業等との密接な連携を図り、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度の発足に伴い、東京動物専門学校(以下本学)も、直ちに、2014年(平成26年)3月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めております。また学校情報についても従前通り公表してまいります。

## 2. 学校概要

### (1) 校訓

本学の校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者に必要な仕事上や動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、更には、健康な体(体)をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は2年間の学校生活を通じての様々な体験により身に付くものであると考えております。

### (2) 学校の歩み

#### ① 学校誕生

本学は、川原鳥獣貿易株式会社が母体となっております。前理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応じて世界中の動植物を取り扱ってまいりました。その仕事を通じて、これからの飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になるとの思いから、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立いたしました。

#### ② 学校の概要

名称 学校法人 川原学園 東京動物専門学校  
住所 〒276-0046  
千葉県八千代市大和新田1093番8号  
TEL 047-459-0511 (代)  
フリーダイヤル 0120-010520

沿革	1987年 4月	前理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校
	1989年 12月	八千代本校舎完成
	1990年 2月	富里実習施設完成
	1990年 3月	千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園を設立し、植物部門を廃止すると共に、東京動物専門学校と校名を変更
	1990年 4月	東京動物専門学校開校
	1992年 3月	本校新校舎完成
	1993年 4月	学科を統合し、コース制を導入
	2014年 3月	文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける
	2015年 4月	東京動物専門学校 動物管理科 各学年 140名に学則変更
課程	動物管理専門課程	動物管理科 動物飼育技術者コース (動物看護技術者コースは、2015年3月廃止)

### 3. 教育活動

#### (1) 教科数、体系と目標

授業教科は2年間、49科目数、87単位で構成されております。2年間での総授業時間2451時間で、内講義は945時間、実習は1506時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報にて、授業科目等の概要を示しております。

実習のひとつとして施設研修を2年次後期に実施しております。職業教育協定書(事業契約契約書)を締結した事業者のもとにて、基本的には4週間(総時間数182時間)の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受け、就職に結びつけております。

#### (2) 資格試験 (各種資格)

潜水土／ダイビング、危険物取扱者(丙種、乙種)及び救命法講習会(基礎・救命員養成)について、取得方法の指導、試験についての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

#### (3) 教職員

2015年(平成27年)5月1日現在の教職員数は、総数で35名。

教員数 27名(本務 11名 兼務 16名)

職員数 4名(本務 4名 兼務 0名)

2015年度では、新入学生155名と若干増加しましたが、教職員体制は前年と同様な体制を維持しております。

#### 4. 学業成果

##### (1) 就職指導

###### ① 就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して3つの方法で行っております。

第一の方法は、全体指導です。1学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第二に「就職ガイダンス」なる就職窓口を、学生課が週1回の割合で授業時間をさいて開き、個人的に就職の相談にのっております。

第三は、2学年後期（実践段階）に行われる施設研修です。学生が具体的に就職を希望する施設（企業）を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可が与えられた場合に約4週間にわたって研修するものです。

専門学校で学ぶこととは、就職することとが結びついていることでもあります。就職指導も大切ですが、それ以上に学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております。

###### ② 就職状況

表1に2015年度（平成27年度）卒業生の就職状況を示しました。平成27年度卒業133名で就職者数は132名、就職率99%でした。

就職先は大半が動物関連業種であり、動物園、水族館で48名となり、その他観光牧場、馬関連施設、酪農・畜産、実験動物、動物病院、ペット関連等非常に多岐にわたっております。

##### (2) 資格取得状況

表2に2015年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。国家資格の危険物取扱免許（乙種）、潜水士については、1学年次にて取得しています。特に国家資格取得のための補講は強化しております。民間資格の赤十字救急法救急員については、大半の学生が取得しており、緊急時での初期対応に役立つものと期待しています。

##### (3) 自主退学者の状況

表3に2009年より2015年までの7年間の自主退学者と退学時期をまとめました。1学年では前年の13名から2015年度では8名に減少しております。自主退学の理由として、進路変更、健康上の都合等であり、例年と同じです。

## 5. 学生支援

### (1) 学生相談

表4に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数を2014年度2015年度と並列して示しました。

全体の件数は、前年に比べて増加しており、特に2学年の出欠席、定期試験の件数が多くなっております。例年多いのですが、2学年の定期試験については、極めて増加しておりますが、ある教科に関する指導による件数です。

私生活関係では特に1学年に健康面での相談が多く、全国から学生が集まっており、自宅を離れ、寮やアパートなどでの不慣れな新しい生活による健康状態での変調が出てきて相談となるものと思われまます。

個々の学生の「心」と「生活態度」問題には、組織的に対応しており、従来の学生とは異なり、大きな問題を抱える学生は見られておりません。しかし、動物飼育者として、余りにも優しすぎる、心の弱い者もおり、適時指導を行っております。

### (2) 経済支援

#### ① 特別奨学金制度

学生に対する経済的な支援体制のひとつとして、学費を無利子で貸与する学校法人川原学園特別奨学金制度を設けており、学費を無利子で貸与する制度です。

#### ② 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済支援をしております。

## 6. 教育環境

### (1) 八千代本校舎及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代本校舎は、1989年（本館）及び1992年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室（本館）と学科講義室（新館）に分かれております。

また学生利用施設として、自習施設（図書室）、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表5に示す。

施設改修工事として、定員増に伴う学生ホールの間仕切り及び実習室改造工事を行い、教室を増設しました。また経年変化により、新館の建物床面Pタイル工事、空調設備更新工事を実施しました。

### (2) 富里実習施設

表6に富里実習施設の主要動物舎面積を示しております。動物舎は第1号より第

22号まで22棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解できる目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果である。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としております。

表7には、富里実習施設において飼育している教材となる動物を、大分類で示し、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで動物園等で飼育されて種類です。

### (3) 実習用設備及び備品

看護実習設備及び備品を表8に挙げました。

### (4) 防災対策

毎年7月に八千代校舎にて、近隣の消防署の協力を得て、火災防災訓練、12月に地震防災訓練を実施しております。対象者は、学生及び教職員全員です。

## 7. 学生募集

### (1) インターネットでの情報提供

インターネットのウェブ上で、ホームページを開き学校紹介を行っており、学校案内、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情報ブログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウェブ上でできるようになっております。資料請求に基づき、学校案内を希望者には送付しております。

### (2) オープンキャンパス

#### ① 学校説明会

学校説明会は、八千代校舎にて行い、学校及び学校生活全般の説明のほか、入学試験、学費、就職のことなど、なんでも質問できるようになっております。また校舎内の施設見学も併せてでき、学校内容を十分に理解、納得した上で試験に臨むよう入学希望者に説明しています。学校説明会は、毎年3月より2月まで10数回実施しました。

#### ② 授業見学

八千代校舎にて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を感じることができます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れております。

#### ③ 体験入学（実習体験）

富里実習施設の実習施設で実施している飼育実習の一部、動物のエサづくり

やエサやり、乗馬体験などが体験できます。体験入学は、6月～9月の日曜日に8回ほど開催し、施設見学も体験入学実施月以外の時期に開催しており、どちらも事前予約が必要です。

### (3) 学校訪問

関東圏の高等学校には庶務課の職員が募集依頼で、訪問します。学校の担当者に直接面会し、学校案内に従い情報提供するとともに、受入れ募集を依頼しています。

## 8. 財 務

表9に財務消費比較表にて平成23年度より平成27年度までの過去5カ年分を示しました。平成25年度より27年度まで入学生はほぼ横ばいで、収入の大半を占める学費等の収入も横ばいです。財務健全化には消費支出の抑制も必要ですが、その大半は固定的経費であり、今後共経年劣化する建物の維持管理費の捻出が必須でもあり、入学生の確保は、専門学校の維持管理には必須の要件です。

## 9. 地域貢献・地域連携

### 学 校 祭

2015年9月25日から27日までの3日間、八千夫校舎内及び校庭にて、学校祭実施し、延べ1万人以上の来場者で賑わいました。富里実習施設より動物を持ってきて、動物専門学校でなければできない内容であり、動物とのふれあい、エサやり、乗馬体験、動物たちのショーなど盛りだくさん実施した。近隣より多くの人々の来場があり、楽しい3日間のイベントとなりました。

この学校祭は、開校以来継続的に学生が主体となり、企画立案・作成準備・実施といった過程をこなし、運営するものであり、学生たちのコミュニケーションやリーダーシップなどの養成に大いに役立つものです。

表 1 : 平成27年度 卒業生就職状況

卒業生数 : 133名  
 就職者数 : 132名  
 就職率 : 99%

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	54	99	35
水族館	30	53	13
観光牧場	12	21	14
馬育成・管理	25	60	6
酪農・畜産	78	200	16
実験動物	14	106	2
動物病院	188	409	3
鳥獣卸業・販売	20	32	15
魚類卸業・販売	1	2	1
動物訓練	1	2	1
その他動物関連	10	55	21
動物関連外	15	66	5
総合計	448	1,105	132

\* 卒業生133名中、就職希望者は132名

就職先分野	主な就職先
動物園	※東京都多摩動物公園、※大島公園、※東京都上野動物園(子ども動物園)、よこはま動物園ズーラシア、※埼玉県こども動物自然公園、※東武動物公園、市原ぞうの国、那須どうぶつ王国、宇都宮動物園、富士サファリパーク、群馬サファリパーク、※札幌市円山動物園、※秋田市大森山動物園、※いしかわ動物園、※富山市ファミリーパーク、豊橋市動植物園、日本モンキーセンター、※名古屋市東山動物園、※大町山岳博物館、※とくしま動物園、長崎バイオパーク
水族館	※しながわ水族館、※鴨川シーワールド、※犬吠埼マリニパーク、※名古屋港水族館、※鶴岡市立加茂水族館、※青森県営浅虫水族館、※太地町立くじらの博物館、※大分マリンパレス水族館「うみたまご」、※九十九島水族館「海きらら」
観光牧場	マザー牧場、成田ゆめ牧場、船橋アンデルセン公園、伊香保グリーン牧場、南が丘牧場、掛川花鳥園、ふじさん牧場、ダチョウ王国、丹後王国のま馬ハイランド
馬育成・管理	ノーザンファーム、社台ファーム、ウイタスライディングクラブ、八ヶ岳ロングライディング、日本乗馬倶楽部、馬のなみあし倶楽部
酪農・畜産	(独)家畜改良センター本所、JA中春別酪農ヘルパー利用組合、中洞牧場森林の牧場、千葉エッグファーム、小堀屋畜産、スエトシ牧場
実験動物	(株)JTクリエイティブサービス
動物病院	とおやま動物病院、ナイル動物病院、リアンアニマルクリニック
鳥獣卸業・販売	ペットのコジマ、ペットプラス、ふくろうの城原宿店
魚類卸業・販売	アクアペットかねだい戸田転
動物訓練	おさるランド(太郎倶楽部)
その他動物関連	しおん保育園、柿島養鱒、島田動物舎、ハブ博物館

※印は、嘱託又はアルバイト契約(更新条件付)

表 2 : 平成27年度中に学校主導で取得した資格

資 格 名	資格の区分 国家、民間資格	取得者数 (人)	
		1学年次学生	2学年次学生
危険物取扱免許 (乙種)	国家	61	0 (52)
潜水士	国家	60	1 (71)
赤十字救急法救急員	民間	147	0 (140)
		268	1
	合 計	269	【26年度 257】

( ) 昨年度1学年次に取得した者

表 3 : 過去 7 年間の自主退学者数と退学時期

単位 (人)

入学年度	入学者数	退学者合計 (退学割合%)	1 学年 前期	1 学年 後期	2 学年 前期	2 学年 後期	留年者
2009年	97	11 (11.3)	6	3	1	1	2(自主退学)
2010年	98	26 (26.5)	8	13	1	4	
2011年	136	28 (20.6)	10	11	1	6	2(自主退学)
2012年	158	26 (16.5)	6	13	3	4	特別コース1 休学 1(自主退学)
2013年	150	27 (18.0)	6	15	5	1	
2014年	152	13 (8.6)	3	10	3	2	特別コース1名
2015年	155	8 (5.2)	4	4			

表4：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内 容	学 年	1 学年 (件数)		2 学年 (件数)	
		2014年度	2015年度	2014年度	2015年度
学 校 関 係					
学 校 生 活 全 般		3	7	0	7
進 路 変 更		1	3	1	1
友 人 関 係		0	0	0	0
出 欠 席		49	65	16	40
定 期 試 験		60	46	1	52
学 外 研 修		0	0	0	0
私 生 活 関 係					
健 康		8	16	0	5
私 生 活 全 般		0	0	0	0
将 来 へ の 不 安		0	0	0	0
		121	137	18	105

表5：八千代本校舎 学生利用施設

校舎	用途	名称	面積 [ m <sup>2</sup> (坪) ]	備考
本館	コース別講義室	101教室	60.75 (18.37)	
		201教室	60.75 (18.37)	
		301教室	60.75 (18.37)	
		302教室	60.75 (18.37)	
		図書室	33.77 (10.21)	※1
新館	学科講義室	103教室	60.33 (18.24)	
		203-1教室	120.66 (36.49)	※2
		203-2教室	120.66 (36.49)	※2
		303教室	279.30 (84.48)	
		講義室	54.33 (16.5)	
	福利施設	学生ホール	118.83 (35.94)	

※1：蔵書数(2016.04.01現在) 2,029冊

※2：203教室は、2分割や1教室に変更可能である

表 6：富里實習施設主要動物舎

名 称	面 積( m <sup>2</sup> )	( 坪)
第 1 号 動物舎	167.2	50.58
第 2 号 動物舎	109.5	33.12
第 3 号 動物舎	193.9	58.65
第 4 号 動物舎	281.4	85.12
第 5 号 動物舎	182.6	55.24
第 6 号 動物舎	270	81.68
第 7 号 動物舎	236	71.39
第 8 号 動物舎	132.2	39.99
第 9 号 動物舎	132.2	39.99
第 1 0 号 動物舎	207.7	62.83
第 1 6 号 動物舎	67.5	20.42
第 1 7 号 動物舎	34	10.29
第 1 8 号 動物舎	32.4	9.80
第 2 1 号 動物舎	50.8	15.37
第 2 2 号 動物舎	20.9	6.32
放 飼 場	3300	998.25
馬 場	2000	605
馬 放 飼 場	2067	625.27
付 属 農 場	17088	5169.12
合 計	26573.3	8038.42

表 7 : 富里実習施設教材動物

綱	目	科	種
哺乳綱	15	23	123
鳥綱	9	27	85
ハ虫綱	2	11	29
硬骨魚綱	7	7	15
合計	33	68	252

(2015年3月末現在)



表 8 : 実習室 実習用設備、及び備品

	設備及び備品名称	数量
1	AC-1システムケージL型	1
2	入院用ケージ	1
3	体重計診療台	1
4	手術台	1
5	動物全身麻酔装置	1
6	心電図モニター	1
7	レントゲンシステム	1
8	レントゲンカセット	9
9	シャウカステン	1
10	グリット	1
11	プロテクターグローブ	2
12	プロテクターエプロン	1
13	無影灯	1
14	保育器	1
15	内視鏡	1
16	自動高圧蒸気滅菌器	1
17	ガス滅菌器	1
18	ガス滅菌器 カスト	1
19	ヘマトクリット遠心機	1
20	殺菌線消毒器	1
21	顕微鏡 (モニター付)	1
22	顕微鏡	27
23	スケラー	2
24	輸液ポンプ	5
25	輸液ポンプ	5
26	検眼鏡・耳鏡付	1
27	喉頭鏡	1

	設備及び備品名称	数量
28	耳鏡セット アンテナ付	6
29	眼鏡セット	1
30	ウッド灯	1
31	尿比重計	1
32	卓上タンパク比重計	1
33	タンパク屈折計	1
34	ヘマトクリットリーダー	5
35	血球計算版(3種類)	17
36	黄疸指数計	2
37	聴診器 (学生用)	20
38	聴診器 (リットマン)	2
39	上皿天秤	1
40	電子天秤	1
41	骨格標本	1
42	模型 (眼・耳)	3
43	CPR DOG	1
44	術衣・有窓布・無窓布	37
45	グルーミング台	17
46	シンク	4
47	ハンドドライヤー	7
48	スタンドドライヤー	3
49	毛刈り用バリカン	6
50	シーラー	1
51	術衣棚	1
52	器械戸棚	1
53	物置戸棚	1
54	備品戸棚・物品棚	8

表9：財務消費比較表（5カ年）

単位：千円）

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
帰属収入合計	374,034	358,599	378,229	356,284	311,783
基本金組入合計額	14,040	14,507	24,472	13,639	54,264
消費収入の部の合計	359,994	344,092	353,756	342,645	257,519
消費支出の部の合計	334,478	340,575	336,928	334,466	299,119
当年度消費支出超過額	25,516	3,517	16,828	8,179	△41,600
前年度消費支出超過額	△503,190	△506,707	△523,535	△531,715	△490,115
基本金取崩額					
翌年度消費収支超過額	△477,675	△503,190	△506,707	△523,535	△531,715

減価償却費	11,831	15,009	14,653	13,893	14,160
-------	--------	--------	--------	--------	--------

在籍者数(5月1日現在)	294名	281名	289名	273名	213名
教員数(本務・兼務)	27(11・16)名	30(12・18)名	27(10・17)名	27(10・17)名	26(9・17)名

定員に対する現員比較 122.50% 117.09% 120.42% 113.75% 88.75%